









経過	手術前	手術当日	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手術に対する不安が少なくなる ・入院中の生活がわかる ・予定通り手術が受けられる ・お腹の張りや出血がない 		
日付	月 日	月 日手術前	月 日手術後
他科受診	麻酔科受診		
検査			
治療処置	弾性ストッキングのサイズを測ります。	手術用の寝まきに着替えます。 弾性ストッキングをはきます。 (:) にストレッチャーに乗って手術室へ行きます。	手術室で背中に痛み止めの麻酔の管を挿入します。 ＊15週以降の場合は1日1回お腹に器械をつけて張りがないかみます。 ＊手術室で膣剤を挿入します。術後は5～7日程度消毒し、膣剤を挿入します。
内服点滴	子宮収縮抑制剤の点滴を開始する場合があります。	(:) から子宮収縮抑制剤の点滴を開始します。 抗生剤・水分補給の点滴をします。	
排泄	手術室でお小水の管を入れます		
食事	(:) 以降は水やお茶以外の飲食はできません	(:) 以降は飲んだり食べたりできません	手術後は、麻酔の覚め具合や、お腹の動きをみてから水分を少しずつ摂りはじめます。 ※スタッフがお声かけするまでは飲まないようにお願いします。起き上がれないので、お食事に楊枝を刺したり、おにぎりなど食べやすいものに変更します。
			
安静度	病棟内は自由に歩行することができます		ベッド上安静です。体の向きを変えることはできますが起き上がることはできません。
			
清潔	 シャワー浴ができます。		外陰部の清潔を守るため、必要時ナプキン交換をしていきます
指導説明	病棟・手術オリエンテーション ゆったりしたショーツとナプキンを用意して下さい。 手術同意書を回収します。		

経過	術後1日目	術後2日目	術後3日目～
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安静度を守って入院生活を送ることができる ・出血の増加や、お腹の痛みなど、異常時にはすぐにスタッフに伝えることができる。 		
日付	月 日	月 日	月 日
検査	採血		6日目採血
治療 処置	<p>お腹の張りが落ち着いていて、体調良ければ歩く練習をします。 ※背中から痛み止めの麻酔の管が入っている間は、特に転びやすいので気を付けて歩きましょう。 (術後1～2日目に抜きます。)</p>		退院前に診察があります
内服 点滴	<p>*医師の指示に応じて、張り止めの点滴が続きます。 *2日間抗生剤の点滴をします。</p>		
排泄	歩けたらお小水の管を抜きます。		
食事	<p>普通食に戻ります。</p> 		
安静 度	<p>お腹の張りが落ち着いたらトイレ・洗面ができるようになります。</p>	<p>※医師の許可に合わせて、症状をみながら少しずつ行動拡大をしていきます。スタッフにご確認ください。</p>	
清潔	<p>ご希望に応じて体拭きやシャンプーをお手伝いします。</p>	<p>シャワー浴ができるようになります。</p>	
指導 説明	<p>*出血が増えた、お腹が痛い、張る、流れるような感じがする場合には昼夜問わずすぐにスタッフに教えてください。 *点滴は感染防止のため、4日おきに刺しかえます。(指先がしびれる場合や、点滴の先が赤くはれたり、痛い時にはスタッフに教えてください。)</p>		
メモ			